



電子帳簿保存法解説

第5回

本日のテーマ

電帳法への 対応が遅れて いる現状

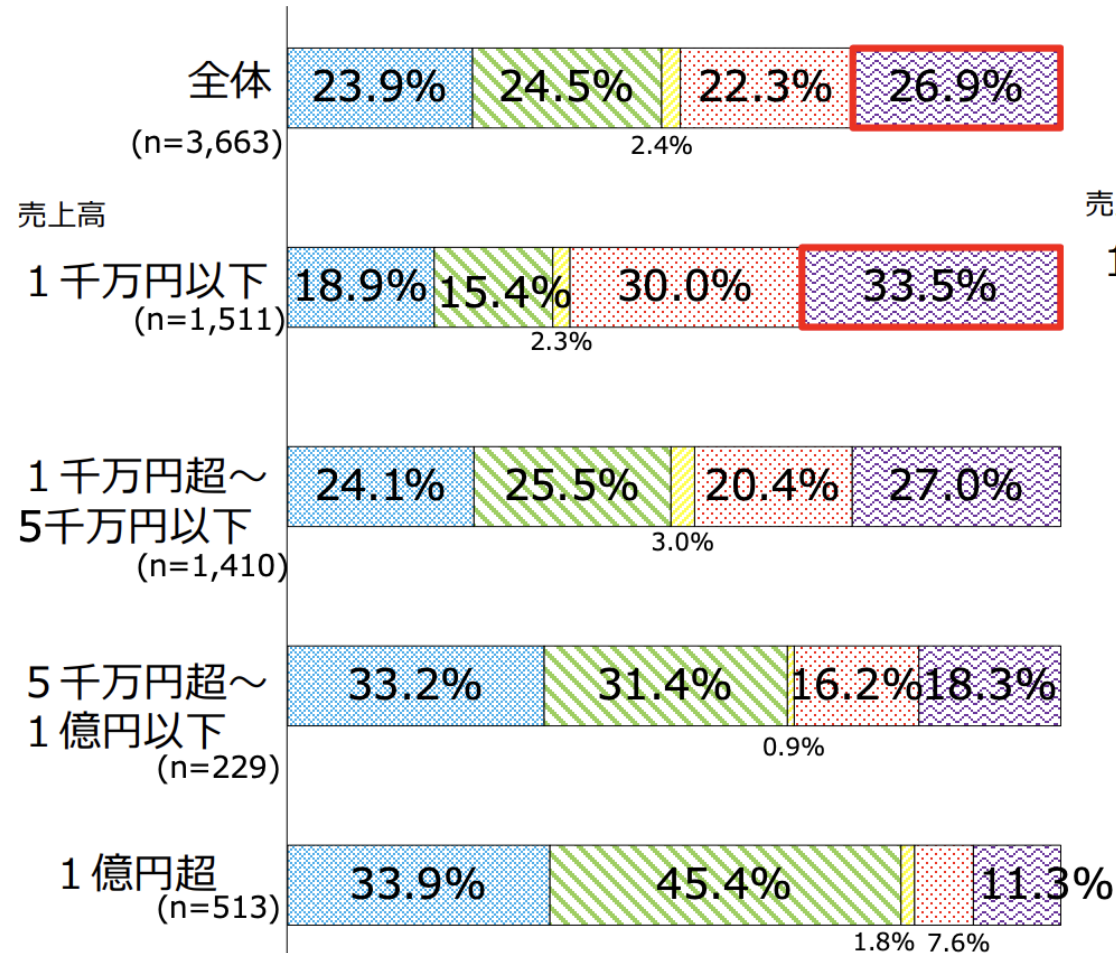


電子帳簿等保存、スキャナ保存への対応状況

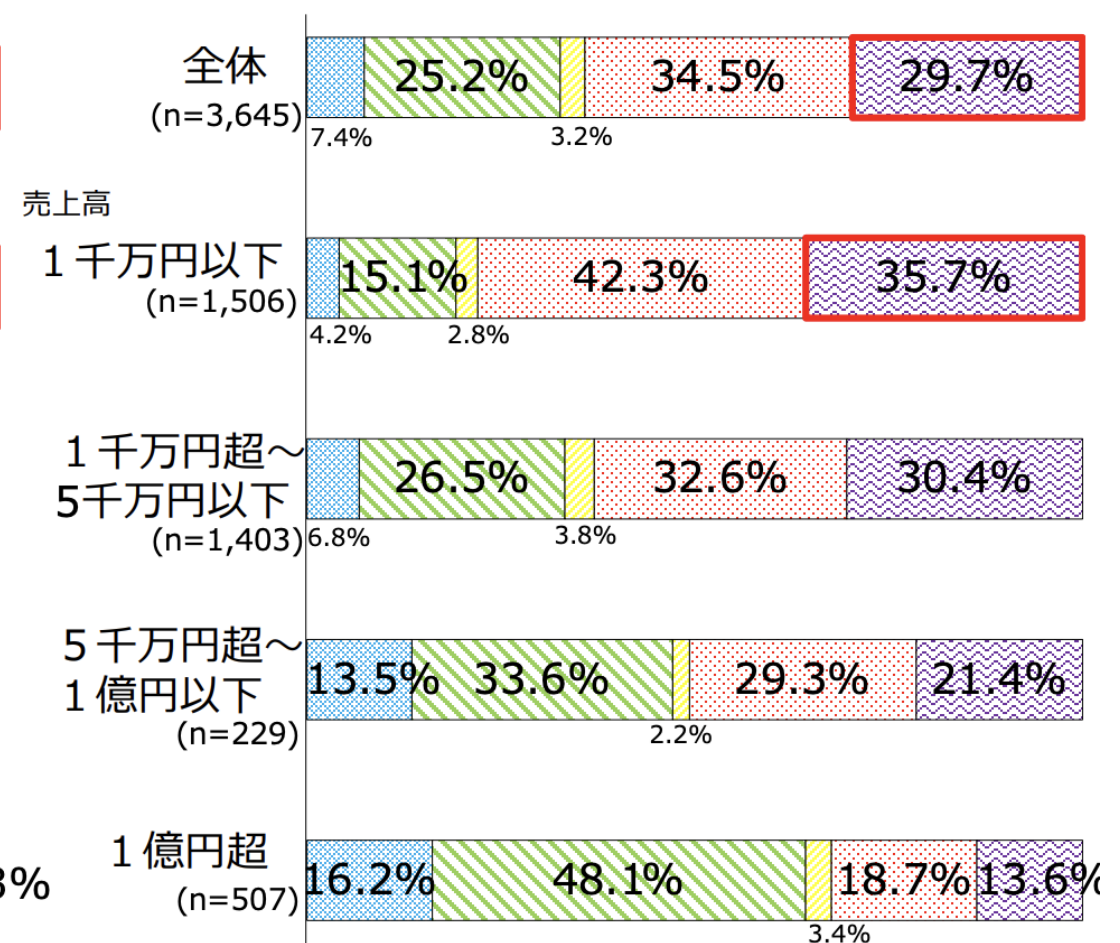
▶ 改正後は、使い勝手が大幅に改善したのだが…

■ 対応している ■ 対応するか検討中 ■ 検討したが対応しない予定 ■ 対応しない予定 ■ 制度がよく分からない

【電子帳簿等保存への対応状況】



【スキャナ保存への対応状況】



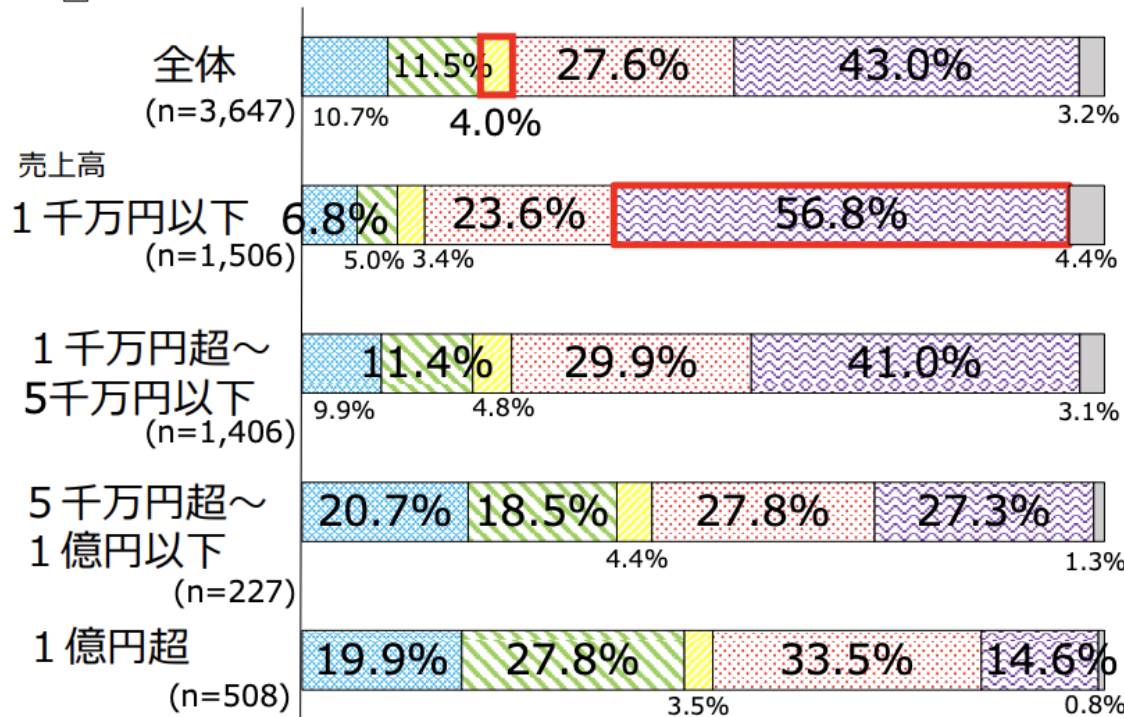
※出所：「消費税インボイス制度」と「バックオフィス業務のデジタル化」等に関する実態調査結果について

電子取引のデータ保存への対応状況

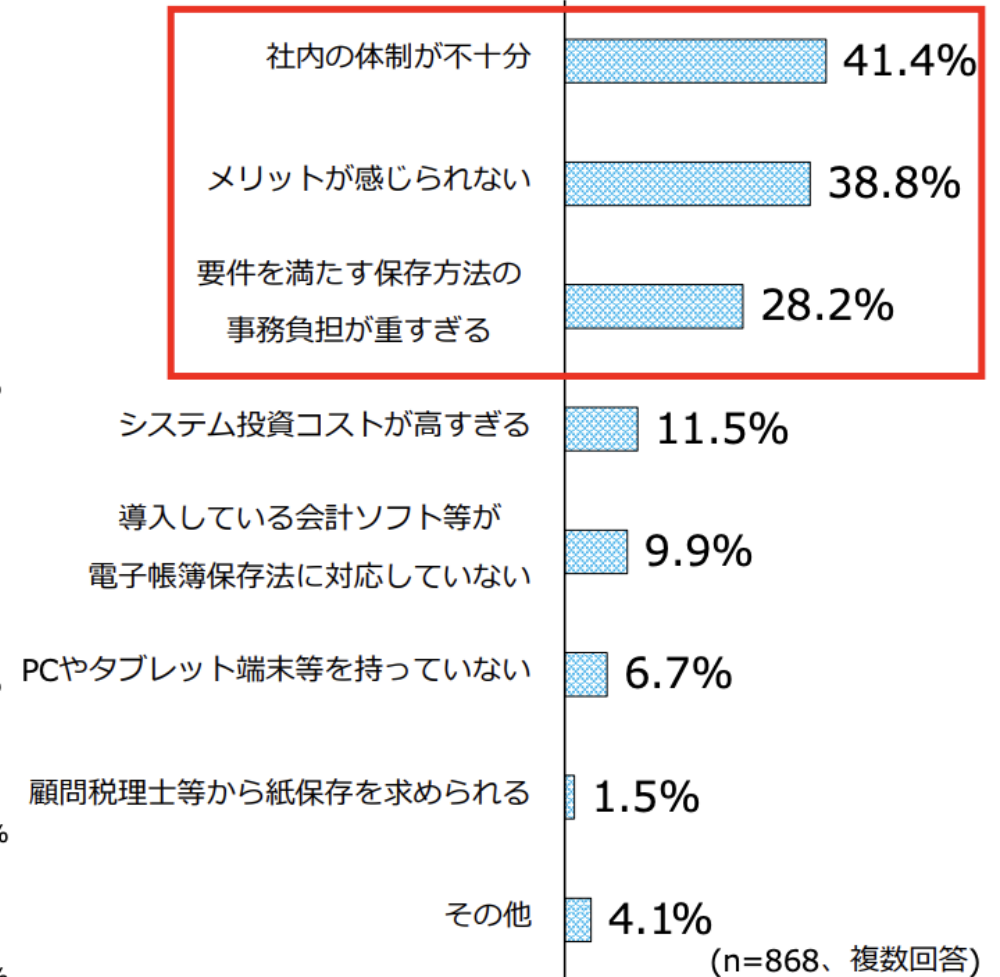
- ▶ 小規模な事業者ほど、内容を良く理解しておらず未着手の割合が高い

【電子取引のデータ保存への対応状況】

- 既に電子データで保存している
- 義務化開始に向けてシステムの導入を検討中
- 対応できておらず、全て紙の原本の授受に切り替えるつもり
- 対応方法は検討中である
- 内容をよく理解しておらず、何もしていない
- その他



【電子取引のデータ保存の課題】




※出所：「消費税インボイス制度」と「バックオフィス業務のデジタル化」等に関する実態調査結果について

対応できていない理由_すぐに着手せず後回しにしがち

▶ 今のままでは、何も対策できずすぐに宥恕措置期間終了しそう

- やらされ仕事で必要性を感じていない
 - 直接的に収益獲得につながる話ではないため軽視されがち
- 具体的なイメージが湧かず、実感できない
 - 性質上、わかりにくいという側面（言い訳にできないが）はある
- まだ慌てるような時間じゃないと思っている
 - 宥恕措置が終わる間近に頑張ればなんとかなると思いがち

A person wearing a black hooded garment, possibly a robe or a costume, is shown from the chest up. They are holding up their index fingers, each with a small plush puppet. The puppet on the left is yellow with a brown headband and a small yellow crown. The puppet on the right is white with red ears and a pink nose. The background is plain white.

あっという間に1年経って
宥恕措置終了!?

対応できていない理由_目的が不明確

- ▶ 目的が明確でないと、全体最適視点での対応ができないという罠に陥る
 - 制度対応にとらわれ過ぎてしまう
 - 従来業務ができなくなるリスクを想定できていなかった
 - 各担当ごとに部分最適化しがち
 - コンサルやサポートの力を借りることで、目的の明確化はしやすくなる
 - 場当たりの対応になり収集がつかなくなる
 - 電帳法対応という煽り文句が不親切な場合にミスリードされる側面もある

対応できていない理由_業務のやり方を柔軟に変えない

- ▶ 電帳法により新しい業務が**上乘せ**されて結果的に余計に負担になる
- 受領～保管までの紙前提の運用を続けてしまう
 - 社内ルールが紙の原本添付、現物の印鑑で承認などでは手間が増えるだけ
- 制度対応はできても業務対応できない結果に
 - 従来業務の再現性に思いを馳せられていなかった場合に起こりがち
 - 制度対応を優先するあまり、制度対応にとらわれすぎて逆に生産性が下がる選択をしてしまう

対応できていない理由_システム導入だけで満足しがち

- ▶ 投資したシステムを**使いこなせない**という最悪の事態は避けたいところ
 - 制度対応の視点でシステムを選んでしまった
 - 制度対応だけでOKなわけではない
 - 現行業務の課題を洗い出しせずに導入
 - 現行業務にそもそも不要なものがあったても、そのまま電子化すれば非効率
 - 「できる」 or 「できない」 の判断で躓く
 - 多様な機能搭載 = お得と思って導入したが、効率化したい業務とは違った

対応できていない理由_根強い紙文化と神紙対応

- ▶ 業務の性質や組織文化なども阻害要因に
- 業務の性質上、紙の資料が多い
 - 請求書、領収書など重要なものも多いが、取引相手も紙で渡して来がち
 - 作る側だけでなく、見る側も時間がかかる
- 紙対応のためだけに本社
 - 対外部だけならまだしも、社内承認手続の場合にまで現物のハンコの押印が必要

対応できていない理由_自己変革できない人材

- ▶ 変えたくない、現状のままで居たい人が**阻害要因**になるケースも
- 変革マインドの押し売りは困難
 - 配置転換が現実的な手段
 - 業務を知っているからこそ本質を考えられるはずなのだが...
- 従来から本質を考える心がけを
 - 会計基準どおりのオペレーションだけで満足せず、何故こういう新しい会計基準ができたのか？と基準の本質を考える習慣が変革マインドを醸成する

【番外編】 予見される課題

- ▶ 制度対応だけを考えていると、問題がクリアできないことも予見される
 - 電帳法と他の要請に差がある
 - スキャナ保存ダブルチェック不要になっても、改竄された書類をスキャナ保存してしまえば責任問題を回避できるわけではない
 - 外部に確認が必要な部分もある
 - 原本廃棄のルールや、チェック体制は、電帳法対策だけの視点だけでなく取り組まないといけない
 - システムのサービス終了でデータにアクセス不能になるリスクも考慮